

きらめく
まちビト
×
秋山 實



市立大学の入学者としては過去最高齢の68歳で入学された秋山實さん。大学に入学した理由や、これからの活動、今後の目標などをインタビューしました。

人生計画は100歳まで現役。やりたいことは山ほどある。

大学に入学する前は何をしていたのですか

インターネットを利用し、パソコンなどで学習できるシステム(eラーニング)の会社を今もやっています。学習院・愛知工業・東京外国語の3つの大学を手掛けています。インターネットがあればどこでも対応できるので、不自由なく仕事は続けています。

音威子府村に移住した理由は

趣味が「山登り」と「スキー」なので、北海道の大自然の中で登山を楽しんでいたのですが、シカが増加し貴重な高山植物に壊滅的な被害があり、脅威を及ぼしている現状を目の当たりにしました。さらに、シカを駆除してはごみとして処理し、多額の費用がかかっている現状もあり、とてももったいないことです。そこで、狩猟・加工・販売までの過程を一貫でできれば有効的な産業になると思い、こちらに住んで起業することを決めました。

大学へ入学した理由は

事業をさらに展開するため必要な資格を取得できる大学が、今の住まいから通える範囲にあったのが第一です。管理栄養士の勉強を主体に、

養学を学んでいることが、これから年老いても元気に過ごすためにとても役に立っています。学んだ知識を自分のみならず、事業を通して皆さんにも提供できればと考えています。

大学生活はいかがですか

私は本職の関係で、名寄市立大学以外にも多くの大学を見ますが、この学生は皆さんすごく真面目だと思っています。将来の目標達成のためにこの大学を選んでいるし、その辺は違うなと感じています。あと、一番驚いたのは大学内に「落書き」が一つもないこと。他の大学はたばこの焼け跡などもあるほどです。環境面でもとてもいい大学だと思います。ただ地元出身の学生が少ないのが残念です。

今後の目標は

今年の秋には認可をとって、シカ肉料理やシフォンケーキなどを提供するカフェを開設する計画でいます。その後はこの大学で取得できる資格で、インターネットでのシカ肉や加工品の販売をしていく予定です。最終的な目標は、エゾシカの6次産業化の成功事例として、その過程をeラ

Profile

秋山 實 (あきやま みのる)

昭和25年5月山口県下関市生まれ。父の仕事の影響で東京に移り住み、電気通信大を卒業後、東京電力で勤務し通信設備の整備に就く。結婚し4人の子宝に恵まれ、退職後はeラーニングのシステム会社を設立。その傍ら、現在は音威子府村に在住し、長男と共にエゾシカの6次産業化に力を入れる。先日、誕生日を迎え69歳。

ーニングの一つの教材として展開できればと考えています。
名寄市民の皆さんに一言
「シカ猟師なって森を守ろう！」
定年退職されて、趣味で登山をする方は少なくないと思いますが、猟師になりたいと思う方は全くないです。このままエゾシカが増え続けると緑あふれ自然豊かなこの地域がダメになります。費用をかけてごみとして処理することは、何も問題解決になりません。一緒にエゾシカ猟師をやってみませんか？

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。